



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2014年12月会報 第315号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Isaac Palathinkal (インド)
主 題: "Theme:Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」
標 語: "Do it Now"
「今すぐやろう!」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本)
主 題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
標 語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 松本 武彦 (大阪西)
主 題: 「響き合い、ともに歩む」
"To walk together, echoing each other"
標 語: 「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
- 六甲部長 多胡 葉子(宝塚)
主 題: 「わたしとあなたのY'S ダムをYMCA と共に」
《ユース・交流・地域》
- 宝塚クラブ会長 杉谷 和代
主 題: 「Shareする喜びを感じよう、その輪を広げよう!」
"Let's feel the joy of sharing. Widen the circle of it"

今月のテーマ: EMC(会員の獲得強化)

ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

(ルカ福音書 2章 6-7節)

2014年12月クリスマス例会

日 時: 2014年12月10日(水)18:00

場 所: 宝塚ホテル チャペル・ゴールドの間

会 費: 会員5,000円、会員外5,000円

第1部 クリスマス礼拝 ドライバー 吉田 明
福田 肇

聖 書 加藤 光信
祈 禱 石田 由美子
奨 励 嶺重 淑
(関西学院神学部教授)

献 金
賛美歌

第2部 ゴスペル・ミニコンサート

Ms.Cassandra Peak さん

(シカゴ出身で大阪を拠点として

ゴスペルの指導)

第3部 祝 会 ドライバー 谷川 尚

開会点鐘 杉谷和代会長

ワイズソング 全 員

ゲストスピーカー紹介 杉谷和代会長

会長・各事業委員・YMCA 報告

会 食

誕生日のお祝い

閉会点鐘 杉谷和代会長

2014/15 役 員	会 長 杉谷和代 直前会長 石田由美子 副会長 福田宏子、石田由美子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 六甲部部长 多胡葉子 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 福田宏子 EMC 石田由美子 交 流 石田由美子 ファンド 三品ミチ子 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	今田和子(12月24日) 谷川友子(12月24日)
11 月 実 績	例会出席者数 24名 在籍会員数 23名 出席会員数 15名 出席率 65.2% メイクアップ(内数) 0名 メネット 2名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター7名
	BFポイント 11月 4,250円 累 計 17,650円 にこにこBOX 11月 4,000円 累 計 35,200円 物品販売累計 6,000円

11月第1例会報告

11月例会は12日(水)、宝塚ホテル・ワールドの間に於いて杉谷会長の開会点鐘で定刻に始まりました。



まず、杉谷会長によるヤキマワイズメンズクラブ訪問の様子がスライドショーで報告されました。そして、今回はユースが例会の企画を担当するユース例会という新たな試みでした。今回は、岡山YMCAのボランティア時代の同期である佐野麻子さんに声掛けをして、佐野さ



んと行ないました。内容は、体を動かしたり腕や指を使ったりする柔軟体操を取り入れました。柔軟体操では最初はうまく出来ず苦戦されていましたが、ゆっくりなら出来ていました。また、身体の動きのスピードを上げていくことでリズムにのることが難しそうにされている方も見られましたが、柔軟体操に身体もなれて余裕がでてくると動きにも表情にも笑顔が溢れ楽しい時間となりました。そして会場を少し広くして新聞紙リレーを行いました。風船やカラーボール・ゴムボールの中から選んだものを

二人一組で運ぶゲームです。互いの息の合ったプレーでうまく運ばれている姿は「さすが!人生経験の豊かな先輩!!」の一言でした。

シニアとユースが協力しながらひとつの事をやるのが少ないといわれる社会の中で、ワイズのクラブ例会を通して日頃みる事のない先輩のユーモアや温かいお人柄に接し、とても楽しい雰囲気の中で有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今回の企画は、皆さんの大きなお支えをいただいで楽しい例会となったことに感謝しています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

桑田 勝弥

[会長報告]

11月例会は桑田メンと他一名の若者主導のユニークなプログラムを楽しんだ。いつもの雰囲気と違って体と頭の両方が鍛えられる動きのある時間であったが、シニアにとっては簡単な動きなのに左右の手が同時に違った動きを要求されるとこんなに難しいことかと自信をなくしてしまったのは私だけではないと思いたい。会長のシアトル訪問とIBCをP.P.で紹介などプログラムはバラエティーに富んだ。

- ①今井鎮雄先生訃報
- ②宝塚1万人のラインダンスに宝塚クラブ有志参加しギネス認証を受けた
- ③今年度チャリラン盛会のうちに終了
- ④アジア大会登録、宿泊、マーシャルなどの確認
- ⑤2015年度会長研修日程変更(2015年3月7, 8日)
- ⑥今年度のじゃがいも売上結果報告
- ⑦キャロルを歌う夕べ準備報告(12月18日)
- ⑧神戸YMCA支援チャリティーイベント報告

11月第2例会報告

10月19日(水)18:30から宝塚西公民館会議室にて11月第2例会が、杉谷会長、福田宏、多胡、武田、若林各々、三島主事代行、今田メネット計7名の出席で行われた。議事要旨は次の通り。

1 12月及び1月例会の運営について

★12月10日(水)クリスマス例会、18:00開会

- ・第1部18:00~18:30 礼拝・奨励：嶺重淑氏(関学神学部教授、ブリテン今月の聖書担当)。オルガン奏者は第2部出演のCassandra氏に頼む。プログラム作成は若林。

- ・第2部18:30~19:00 ミニコンサート

Ms.Cassandra Peak氏のゴスペルを聴き、みんなでAmazing Graceを歌う。楽譜準備は若林。

- ・第3部19:00から報告、19:15~20:30 食事と祝会

交換プレゼント・ゲーム(桑田or谷川氏の協力を得る)など。プレゼントはスタッフで準備。

- ・ゲスト：自立の家にて実習中のオーストラリア留学生2名を招待。(Cassandra氏は途中で退席)

- ・会費 5000円(乾杯用酒なし、プレゼント代含む)

- ・案内状の作成・配布→石田。

★12月第2例会は、市民クリスマス準備を考慮して、12月12日(金)16~18時、甲東教会(甲東園駅から東へ2分)にて行う。

★12月18日(木)19~21時、
宝塚市民クリスマス

★1月14日(水)1月第1例会(新年例会)初夢を語る(各出席者3分以内)、今田メネットによる「仕舞」、ほか。

2 市民クリスマス準備、役割分担等

- ・出演者：カトリック仁川教会 水浦神父による朗読、田中良和氏のテナー独唱、さんだワイズ有志のベル、弦楽合奏、近隣教会員及び市民参加の合唱、関学フラチーム、ポップン(ポップンキッズを改名)、パオプオルガン崎本晴子氏、ピアノ中川史子氏など80名。
- ・宝塚厚生幼稚園の園児20名と保護者、阪神自立の家から数人(車いす利用者)が参加の予定。
- ・スタッフ約20名：宝塚ワイズのメンバー
- ・西宮YMCAリーダー。ロビーでの出演者等の世話、Y活動掲示、受付・案内・募金などの役割を分担していただく。(詳細別紙)
- ・宝塚ワイズの紹介記事をプログラムに挿入する→若林

3 六甲部関連

- ① HPの更新を急ぐ・六甲部HPの更新に合わせて同HPに掲載の当クラブの内容を刷新する
- ② 神戸YMCA支援金
 - ・六甲部として、各クラブから各10万円(部総額80万円)と1/24カトリック中央教会チャリティ講演会収益20万円、計100万円を神戸YMCA支援金とする。
 - ・講演会の役割分担等は1月例会で相談
 - ・宝塚クラブとしての支援の在り方を別途協議。

4 その他

- ① アジア大会('15.7.31~8.2 京都)の申込み
マーシャルに石田、福田宏が応募、一般参加者も受付中。
- ② 次期クラブ会長等の人事について
候補者を挙げ会長から個別に折衝してもらう
- ② 隣クラブとの交流、参加者募集
和歌山クラブ 12/6 滋賀蒲生野クラブ 12/8
西宮クラブ 12/13、芦屋クラブ 12/23
- ③ 12月号ブリテン編集
原稿締切 11/26、英文ブリテン締切 12/30

若林成幸

西日本区第二回役員会

六甲部部长 多胡葉子

11月8日から9日にかけて西日本区第二回の役員会がホテルクライトン新大阪で開催され出席した。松本理事期が7月からスタートして、



5ヶ月になる。

まず松本理事からの挨拶と活動報告をうけ一日目は事業主任報告、二日目が各部長報告であった。役員会での主な部長報告の内容はなんといっても各部会が盛況のうちに終わったこととクラブ公式訪問を終えたことが中心であった。

事業主任の報告もそれぞれに各部を回り、事業の推進や呼びかけなどと活発な報告がなされた。

議案協議に関して第19回西日本区大会開催日(2016年6月25日(土)・26日(日))開催会場が松下IMPホールとホテルニューオータニ大阪で開催されることが決まったことはお知らせしておきたい内容である。

もう一つ大きな協議事項は今期のメネット事業に関する計画などの見直しに関してであった。いずれ西日本区から正式な書類が送られてくることだが、メネット事業に関しては国内プロジェクトとして「希少難病問題」を取り上げていくことには変わりはないが、「Universal Field 及び SORD」の団体への関わりは一切しないということを確認した。

いつものとおり分刻みの進行の内に進められる役員会に緊張の中にもみなさまのワイズ活動への熱意が感じられる。また、夜の交流会

では和やかな内に時間の経つのも忘れるひと時である。この席をかりて1月24日に開催予定の六甲部のチャリティーイベントのチケットを買っていただき、励ましを受けたことはとても励みにもなった交流の場でもあった。



なごやかな内に時間の経つのも忘れるれるひと時である。この席をかりて1月24日に開催予定の六甲部のチャリティーイベントのチケットを買っていただき、励ましを受けたことはとても励みにもなった交流の場でもあった。

第17回 神戸YMCA 2014 インターナショナル・チャリティーラン

杉谷和代

11月3日(月・祝)、第17神戸YMCAインターナショナルチャリティーランが神戸しあわせの村において開催された。素晴らしい秋晴れの中で例年通り大勢の参加者を迎え和やかにスポーツを通してチャリティーの一日を過ごすことが出来た。今年は準備の段階から参加したのでお客



さまのような手伝いではなく少しは成長して宝塚クラブチームの一員として参加することが出来た。六甲部各クラブの出店に並んで

我々も恒例のお汁粉とラーメンを販売した。手際良くセッティングを済ませて火をつけお鍋をかけてお汁粉が出来上がり、お湯も湧いてラーメンの準備もすみ、お客様を待つばかり。出足はスローだったが競技が一段落するといよいよお汁

粉が売れ出し、そのうちにラーメンも。結局



早々に両方とも大繁盛で短時間で完売となった。今年は特に若林メンがお汁粉部門で頑張ってもらったお陰で、女性群はあちこちの出店を歩き、お餅やカレーライスや、チジミなどもう満腹状態になった。そのうちにグループ・ランの出番である。クラブの有志5名がYMCAのTシャツとフラのスカートに身を包みランに挑戦。チャリティーランならぬチャリティーウォークであったが、参加することに意義ありと開き直りの我がチーム。結果は60位。派手な趣向を凝らした衣装のグループランだった。すべての競技が終了し、出店も完売で店じまい、そしてクライマックスの閉会式の入賞者の発表である。受賞者の発表に一喜一憂するのは大変楽しい風景できる。宝塚は昨年が続いて今年も今田さんが“当たり”！今田さんには賞品の神様が付いているようだ。秋の一日みんなが集う楽しいチャリティーランは終わり、来年の集いを約束し閉会となった。今年も材料の仕入れやその運搬、写真班、また送迎車を出して下さった方がたに心から感謝。

福田 宏子

11月3日(月・祝)、秋晴れの下、黄橙色に紅葉した木々に囲まれた緑のグラウンドで第17回チャリティーランが”LOVE ON THE RUN” 『心身に障がいのあるすべての人たちに笑顔を』の標題のもと、神戸市北区「し

あわせの村運動広場」で開催された。

毎年恒例の種目の中で「大人の駅伝」が1/10マラソンに今年は変更された。グループ・ランでは楽しい、タイムリーなキャラクターを採り入れた老若男女仮装したグループがいくつもあり、思わず拍手を送った次第である。わが宝塚花組も美しきフラの装いで、優雅に走ったのも言うまでもない。宝塚クラブ出店：ラーメン、ぜんさいも直ちに完売！

恒例のラッフル大会では、キャセイ航空香港往復切符、ホテル宿泊券、食事券、お菓子券等が多彩に提供され大いに盛り上がった。

参加ランナー数：947名、ボランティア人数：175名、観客数：約1,500名、支援金(収益金)：¥1,880,555を皆様のご協力の元にあげることができ、昨年を大いに上まわることができたのは、大きな喜びである。

1万人のラインダンス ギネスに挑戦

11月1日(土)宝塚花組有志・友人8名の目立ちたい、なんでも楽しいことには挑戦したい軍団は、雨模様の朝8時に逆瀬川に集合。受付を済ませて体育館で待っている間、雨はやみそうにない悲しい空——それなのにYMCAのT

シャツに着替えて河川敷に移動するころには、神様が私たちの味方、何とか雨がやみ最後まで傘は不要。リハーサルを2回、それに列の調整など準備には参加者の忍耐が試されているような時間が経過し、ようやく一列に並ぶ



リハーサルを2回、それに列の調整など準備には参加者の忍耐が試されているような時間が経過し、ようやく一列に並ぶ

ことができ4395人、「世界で最長の一列に並んでダンスをする」記録をギネスで承認された。ラインダンスと言うのもっと足を上げるのかと心配したが、それほどでもなく、宝塚軍団の中には練習をしてきたメンバーがいて彼女の踊りを見よう見まねで何とかギネス承認の足を引っ張ることにはならず済んでほっとした。向こう岸ではいつものクラブ写真班が陣取って我々の写真もばっちり。ダンス終了後約30分、テストの結果を待つのもまた楽しいひと時である。マイクで「ギネス承認成功！」がアナウンスされた時には子供のように喜んだ。この日この瞬間、軍団一同10歳は若返った気持ちである。その後のランチの美味しかったこと。今もその時の達成感を思い出す。次は何に挑戦するのであろうか？



杉谷和代

大阪土佐堀クラブ100人例会 報 告

2014年11月18日(火)、18:30~20:00、大阪土佐堀YMCAで開かれた「ヒーリング・コンサート」と題した100人例会に長尾亘ワイズと共に参加しました。10階のチャペルにはドリンクテーブルが用意されて飲み物片手に佐野多由子さんのピアノ演奏と歌、そして佐野さんの軽妙でお洒落なトークを多くのゲスト、ビジターと一緒に楽しもう、という企画です。100人にはならなかったようですが、座席は殆

ど満席になりました。佐野多由子さんは数年前から中西部の行事に何度も協力を頂き私を含め多くのワイズメンと仲良しです。

馴染み深い曲を聴き、又、一緒に歌い、タイトル通り大きな「ヒーリング」になりました。

終了後、YMCA 向かいのイタリアンレストランで大阪土佐堀クラブ恒例の「ビール例会」。お店は貸切状態でグラス片手に狭い中を動き回り、楽しい交流のひと時を持ちました。

出席のワイズメンは、長浜クラブ、京都トップスクラブ、大阪河内クラブ、大阪西クラブ、大阪セントラルクラブ、そして宝塚。

気が付けば22時を過ぎており私達は一足先にお別れをしましたが、宴はその後、三次会へと続いたよう

です。
クリスマス
キャロルと
来年1月の
六甲部主催



イベントのアピールは例会中は出来ませんでした。が個々にお誘いしました。きっとたくさん来てくださる事でしょう！

石田由美子

日本 YMCA 大会に参加して

日本 YMCA 大会に参加して

11月22~24日にかけて御殿場の東山荘で日本YMCA大会が開催された。

二年毎に開催されている大会である。今回のテーマは~BEYOND~越えてゆこう、出会うために日本国内のYMCAからの参加者約350人が集まり、特に神戸YMCAからの参加者は33人と最多だった。

神戸Yから青少年奉仕賞の対象となっているのでとの参加の呼びかけを頂き、急遽ポートクラブの山崎さんの車に同乗させていただき福

田宏子ワイズと一緒に途中参加する事になった。

8時間かかって会場に到着。夕食後に表彰式に

参加。勤続25年の職員、継続25年、50年の
会員、青少年奉仕賞、感謝賞、特別功労賞と
451人が対象。

直接会場で受け取った方々は少



かったが、直接に頂いた賞の重みは貴重なもの
に思え、参加できた事が感謝であった。

明るく日は早朝に黙想館からの雪をかぶった
富士山がくっきり見え、紅葉と共に素晴らしい
景色に満足。

午前中のレクチャーはアジア同盟の山田総主
事から世界のYMCAの動きを説明されとても
興味深いものであった。

その後3人のユースからまとめた発表があ
った中で印象に残った一人の言葉。

「学生時代にリーダーとしてYMCAに係った
何年間。学校を卒業すると同時に卒Yという言
葉で社会へ送り出されることはYMCAに係る
事も卒業になるように思われる」。との言葉に
うなずける思いだ。

神戸Yの中道理事長が実行委員長を中心に
YMCAの力と可能性を結集できる場としての
2泊3日の大会。参加した多くの方々と
の交流に輝きを覚え、最初から参加しな
かった事が悔やまれた。それぞれがと
ても豊かな時を共有された事を感じた
大会であった。

多胡 葉子

[小島規似郎さんを偲ぶ]

小島さんは1973年1月、中西部豊中ク
ラブに入会。

熱心なクリスチャンとしての修業をつ
み、日中間の架け橋として12回の訪中
団を引率されると同時に奈良伝先生
の愛弟子として勉強を続けておられ
ました。自分には厳しく相手には思
いやり、許すことや、やさしさを常
に持っておられました。

神様は力に余る試練を与えないと昔
伺ったことがありましたが、小島さ
んは豊中クラブをクローズしなければ
いけなくなった時、どんなに辛かっ
たであろうと胸が痛みました。しか
し、小島さんはあきらめず神様に
お祈りし、険しい山を乗り越える
力を与えられ見事にご自分で判断
し、宝塚ワイズメンズクラブに入会
されました。

短い期間ではありましたが他ク
ラブを訪問して沢山の方とお話し
たり、食事を楽しんだり、残る時
間を中国の方と交流したりと驚く
ばかりでした。奈良伝先生にまね
てオシャレで身だしなみも素敵
でした。

月1回の待ち合わせの例会を喜ん
でおられました。小島さんゆっく
りお休みください。

三品ミチ子

[第二回六甲部メネット]

11月15日に新神戸のYMCAでおこ
なわれました。多胡六甲部部長、
今田が出席しました。今期の西日
本区のメネット会の取り組みは
希少難病患者支援ということで進
められて来ましたが支援先の問題
で西日本区役員やメネット主任
の方々と検討が行われ、その結果
ひき続き希少難病の理解と啓発運
動はつづけることになった経緯に
ついて主査から説明を受けました。

この方針をふまえて、六甲部も
当初に予定されていた「チャーリ
ティーコンサート」を栄光教会で
開催することになりました。その
準備の流れや仕事の分担等を話
し合いました。

宝塚クラブとしては福田素子メネットに司会をおねがいすることになりました。会合も2回目ということで六甲部各クラブのメネット連絡員の顔もおぼえられました。

4月4日のコンサートについては、いずれ詳しくお知らせいたしますので、皆さまの御支援を期待しています。 今田 和子

【今月のみ言葉】

この箇所は、救い主イエス・キリストの誕生について物語る有名な場面ですので、ご存じの方も多いかと思えます。ただ、一般に知られるクリスマスの物語では、イエスの母マリアとその夫ヨセフは、訪問地ベツレヘムで宿屋が見つからなかったため、やむなく馬小屋に泊り、そこでイエスが生まれたというストーリーになっていますが、実は聖書には馬小屋云々の話が出てきません。聖書にはただ、彼らが泊まった宿（客間）には十分なスペースがなかったと語っているにすぎないのです。確かに、家畜の飼料入れである飼い葉桶は出てきますが、当時のパレスチナでは、人と家畜はしばしば同じ屋根の下に同居しており、おそらく彼らが泊まったのも、そのような家畜が同居する住居だったと考えられます。

それはそうと、「宿屋には彼らの泊まる場所がなかった」という箇所は、救い主の誕生を迎える立場にある私たちに、受け入れの姿勢を問いかけている言葉のようにも思えてきます。すなわち、私たちの心のなかに、救い主のための居場所が十分に用意されているか、喜びをもって御子を迎えるための十分なスペースが準備されているかと、私たち一人ひとりが問われているのです。今年もクリスマスの日が近づいてきました。喜びをもってクリスマスの日を迎えることができるよう、この日を心から待ち望みつつ、アドベントの日々を過ごしていければと思います。

嶺重 淑

YMCA だより



1. 第17回チャリティーラン、開催

去る11月3日（祝・月）に第17回を数えるチャリティーランがしあわせの村において開催され、参加者チーム253チーム、ランナー数947名、ボランティア175名、来場者1500名の方々が集まり、盛大に開催されました。今年のプログラムは従来の成人の駅伝がなくなり、1/10マラソンに変わりました。例年通り、グループランでは工夫をこらしたコスチュームでの多くのランナーがエントリーし、華やかでした。奉仕をしてくださる方々も各ワイズメンズクラブやリーダー会の皆さんが様々な食べ物の模擬店やゲームコーナーを用意してくださり、にぎわいました。最終収益はあらためて報告があると思いますが、多くの支援金を得ることができ、障がいを持った子どもたちのキャンプのために使用されます。多くのボランティアやスタッフの皆さんが尽力くださいました。心から感謝いたします。

2. 今井鎮雄名誉顧問ご逝去

去る11月3日（月）に今井鎮雄名誉顧問が天に召されました。この春先から入退院を繰り返され、病床にありましたが、10月末に容態が急変し、3日に逝去されました。93歳でした。今井顧問は神戸YMCA第6代総主事として21年の長きにわたって指導され、現在の神戸YMCAの発展を築かれました。兵庫県、神戸市においても重要な役割を果たされ、すべて神戸YMCAの社会的な働きの一部としてこの地域社会で認知されていることで、今井顧問に心から感謝しつつ、哀悼の意を表し、御霊の平安を祈ります。

3. 第2回常議員会、開催

去る11月10日(月)に神戸キリスト教青年会の第2回常議員会が開催され、今年度上半期のYMCA全体の活動、3法人の事業について報告され、承認をいただきました。また、新3ヶ年計画、特に三宮会館建築の進捗についての報告。次期総主事選任について、水野総主事の退任と井上真二さんの次期総主事就任が承認尚、井上真二次期総主事は、11月1日より副総主事に就任され、次年度準備の責任を担われます。

4. 世界YMCA YWCA 合同祈禱週、開催

例年行なわれている合同祈禱週は、今年も11月9日(日)から15日(土)まで世界中のYMCA・YWCAで関連行事が行なわれ、祈りを共にしました。今年のテーマは「変革をもたらす大胆なリーダーシップ」でした。

5. 第18回日本YMCA大会、開催

去る11月22日(土)～24日(月)に東山荘において、第18回日本YMCA大会が行なわれ、全国から307名の会員、ワイズメン、ユースボランティア、職員などが集まりました。「Beyond～越えてゆこう、出会うために」というテーマで語り合い、学びあう時となりました。神戸YMCAからは32名が参加し、内8名がユース、内4名の高校生が参加しました。ワークショップの講師の一人としてご奉仕されました。

また、大会中に、永年にわたってYMCA運動発展に貢献された会員・職員の表彰が行なわれましたが、神戸YMCA関係者は以下の通りです。(敬称略)

6. 今後の予定

1) 第56回神戸市民クリスマス

テーマ「こころをむすぶクリスマス」キャロリング・子どもプログラム・ほっとタイム・祈りと祝福のときのプログラムが持たれす。

日 時：12月19日(金)

17:00～キャロリング、

19:30～礼拝

場 所：神戸聖ミカエル教会(県庁西隣)

2) 2014震災YYフォーラム

テーマ「共にいたみ、希望に生きる」、今年度のYYフォーラムは、ユース委員会・東部地域委員会・中央地域委員会が合同して企画していただきました。阪神淡路大震災から20年のこの日、一同に集い、語り合いたいと思います。是非、ご参加ください。

日 時：1月17日(土) 13:00～

17:00

場 所：日本キリスト教団神戸栄光教会

(JR元町下車5分、地下鉄県庁前下車すぐ)

第10回記念チャリティー

「市民クリスマスキャロルの夕べ」

です!

